

行動経済学会 第10回記念大会(2016) 2016年12月3日(土)～4日(日)

2日目:12月4日(日)

		A会場(24番教室)	B会場(28番教室)	C会場(34番教室)	D会場(38番教室)
9:30～11:45 135分	セッション名 一般報告セッション 座長	一般報告 ファイナンス 川西論/上智大学	一般報告 競争 竹内幹/一橋大学	一般報告 行動経済学と政策 西村周三/医療経済研究機構	一般報告 労働 山本勲/慶應義塾大学
	報告題名	効果的な取引時間延長の検証	Difference of women's performance according to circumstances: The case speedboat racing in Japan	規範意識と経済政策—税と社会保障の政策決定を例として	残業時間と行動経済学的パラメータを中心とした個人特性の関係: プロGRESSレポート
	報告者	三輪宏太郎/東京海上アセットマネジメント投信	山村英司/西南学院大学	久米功一/株式会社リクルートホールディングス	黒川博文/大阪大学
	討論者	和泉潔/東京大学	山根承子/近畿大学	大垣昌夫/慶應義塾大学	山本勲/慶應義塾大学
	報告題名	我が国家計の金融資産におけるリスク許容度	不況と競争嫌い	処方箋のデフォルト変更のジェネリック医薬品選択行動に与える影響	マイクロワーキング市場における労働供給行動: 北米における労働者を対象とした実験
	報告者	山口勝業/イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社	山並千佳/大阪大学	高橋義明/公益財団法人世界平和研究所	熊谷史也/秋田県立大学
	討論者	野尻哲史/フィデリティ投信株式会社	近藤絢子/東京大学	西村周三/医療経済研究機構	黒川博文/大阪大学
	報告題名	Is short-sales constraint really significant in the presence of a centralized lendable stock market?			出産が男性の労働成果に与える影響
	報告者	Mostafa Saidur Rahim Khan/名古屋大学			湯川志保/帝京大学
	討論者	岡田克彦/関西学院大学			山根承子/近畿大学
		ポスター会場(22番・23番教室)			
11:45～13:30 115分		ランチタイム+ポスターセッション			
		2階ホール(21番教室)	3階ホール(31番教室)		
13:30～14:45 75分	テーマ 座長	一般向け教育セッション 岡田克彦/関西学院大学	研究者向け特別セッション 大垣昌夫/慶應義塾大学		
		人工知能と金融マーケットの未来	開発途上国でのフィールド実験		
		・和泉潔/東京大学 ・羽室行信/関西学院大学 ・植野剛/株式会社Magne-Max Capital Management	・澤田康幸/東京大学		
14:45～14:55 Break					
		3階ホール(31番教室)			
14:55～16:10 75分		会長講演 共同体とリーダーシップの行動経済学			
		司会:池田新介/大阪大学 大垣昌夫/慶應義塾大学			
		3階ホール(31番教室)			
16:15～17:45 90分		パネルディスカッション 「行動経済学の過去・現在・未来」			
		司会:天竹文雄/大阪大学			
		登壇者 ・亀田達也/東京大学 ・マルデワ・グジェゴシュ/近畿大学 ・川越敏司/公立ほこだて未来大学			
		特別会議室(1階:20番教室下)			
17:45～18:35 50分		行動経済学会奨励賞選考委員会			